

〈企画展〉

ここに根をはる

津波のあとの植物たちとその環境

2023.3.25^土 - 7.16^日
せんだい3.11メモリアル交流館
(地下鉄東西線荒井駅舎内)

2階展示室 / 入場無料

開館時間：10:00～17:00

休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

祝日の翌日(土・日・祝日を除く)

主催：せんだい3.11メモリアル交流館



《38° 12' 55" N 140° 59' 02" E (荒浜のシロツメクサ)》(部分 / 2022年~)



すべてが一変したあの日。
海辺の暮らしを見守ってきた松林はなぎ倒され、
一面が土砂と瓦礫に覆われた光景に色は無く、
緑豊かな自然はすっかり失われたかのようでした。
しかし春を迎えると、そこには再び芽を出し、
花を咲かせる植物の姿がありました。

静かに、そして雄弁に、
自らが根をおろした環境を語る植物たち。

本企画展では、津波浸水域に芽生えた植物を
描き続ける画家・倉科光子氏の水彩画作品15点と、
仙台東部沿岸地域の植物をめぐる環境の変遷に
ついてご紹介します。

倉科光子 Misuko Kurashina

青森県三戸町出身。手書き友禅を学んだことをきっかけに、
2001年より植物画の制作を始める。2011年東京農業
大学緑地生態学履修。2013年に東日本大震災の被災地へ
赴き、以降津波浸水域に芽生えた植物をテーマに制作を続け
ている。

国立科学博物館植物画コンクール 筑波実験植物園長賞

カーネギーメロン大学 ハント国際植物画コンクール

RHS 英王立園芸協会 Botanical art and Photography Show
ゴールドメダルおよび審査員特別賞受賞

津波は永い間地面に埋もれていたタネを掘り起
こし、浸水域にはそれまで見られなかった植物が
繁茂しました。それらの多くは消えてしまっ
たように見えますが、いまだにちよつとしたきつかけ
で芽吹き、根をはる姿を私たちに見せてくれます。
自然の脅威に私たちが呆然としていた頃、小さな
植物は芽を出す準備に取り掛かっていた事を私の
絵から読み取っていただけたら幸いです。

倉科光子

関連イベント

倉科さんと行く、荒浜と新浜のバスツアー

5月27日(日) 9時30分〜12時30分

作品の題材となった荒浜のシロツメクサと新浜の
ハマヒルガオを、倉科光子氏と一緒に訪ね、浜辺
を散策します。

定員 15名程度(先着)

参加費 1000円(バス代、保険料など)

申込 5月6日(日)10時から電話またはEメール
受付

「ミズアオイ」のお話と大昔のタネさがし

6月25日(日) 10時00分〜11時30分

津波をきっかけに再び姿をみせた「ミズアオイ」の
お話を聞いて、水田地帯で採取した地層サンプル
の土に埋まっているタネをさがします。

講師 平塚明(NPO法人日本ヒオトープ協会顧問)

定員 20名程度(先着)

申込 6月6日(日)10時から電話またはEメール
受付

倉科さんに聞く、ギャラリートーク

7月16日(日) ①11時〜 ②14時〜 (各回45分)

定員 20名程度(先着)

申し込み不要、直接展示室へ



《37° 33' 22" N 141° 01' 31" E (ミズアオイ)》(2015年〜2020年)

申込み・お問合せ / せんだい 3.11 メモリアル交流館

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井字沓形85-4
地下鉄東西線荒井駅舎内

☎ 022-390-9022 ☒ office@sendai311-memorial.jp

アクセス ▶ 仙台空港から：仙台空港アクセス線仙台行きで25分、仙台駅で地下鉄東西線に乗り換え

▶ 仙台駅から：地下鉄東西線荒井駅行きで13分

※お車で越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

※バイク・自転車で越しの方は、荒井駅駐輪場(有料)をご利用ください。

主催 / せんだい 3.11 メモリアル交流館

制作 / TURNAROUND

パネル監修 / 平吹喜彦 (東北学院大学)



メモリアル交流館
ホームページ



未来のせんだい2023
~ feel great ~

